

# 松支図書館だより12月号

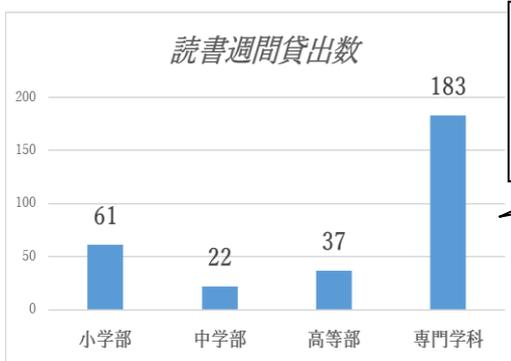
平成29年12月1日  
熊本県立松橋支援学校図書館発行



学校が休みの日を除くと、11日間という短い読書週間期間でしたが、下のグラフを見ても分かる通り、たくさんの方が本に親しむ機会になったようです。



氷川分教室おはなし会の様子



10月23日～11月9日の18日間(土日除く実質11日間)で、計**303冊**、本の貸出がありました!

一番多い人は、この期間に**30冊**借りましたよ!

読書週間は終わりましたが、寒い寒い冬がやってきます。

部屋の中で過ごす時間が増えるこの時期、**読書を楽しむほか、ないでしょう!**



『すごい動物大図鑑』  
下戸猩猩監修  
世界は不思議なことだらけ!「へえ〜」「うわっ!」と思わず声が漏れてしまう、驚きが待っています

こたつでゴロン♪こんな本はどうでしょう?



『猫とわたしと三丁目の怪屋敷』  
奇水  
猫好きにはたまらない!?  
不思議な猫たちの世界に迷い込んだ少女の、ご近所冒険譚。



手元に本がなくては、始まらない!!

## ★文化図書委員会、きらり祭活動報告★



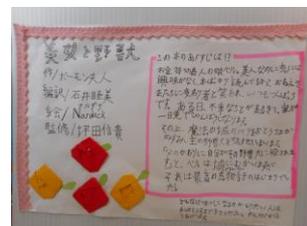
文化図書委員会は、きらり祭の活動として、《ちらし作成班》《POP班》《司会班》に分かれ、活動を行いました。

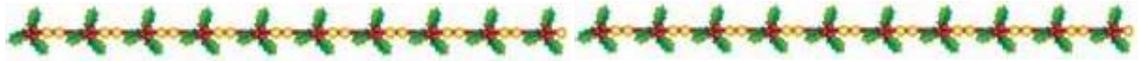
ちらし班は、きらり祭PRのチラシを作成、それを近隣住民の方々へ配布しました。司会班は、きらり祭当日、各学部の発表のアナウンスを行いました。そしてPOP班は、お気に入りの一冊を紹介するPOPを作成し、当日展示、皆さんに投票をしてもらいました。

その結果、得票数1位『①新幹線のたび』

2位『⑤美女と野獣』 3位『②くまのプーさん心がスツキリする幸せのヒント』となりました。

皆さん投票していただき、ありがとうございました。今回委員が紹介した本は、図書館で展示します。ぜひ手にとってみてください。





リレーエッセイの依頼を受け、たいした内容にはなりませんが、書かせていただきます。

皆さんは、「本を読みなさい」と言われていたことはありますか？私は、その言葉を小学校の時から良く学校の先生から聞かされてきました。恥ずかしいことに、ほとんど本を読まない子どもでした。大学生になり、さすがに何か読まないと・・・と思い、とりあえず実家にあった、さくらももこさんの「もものかんづめ」を手に取りました。日常を面白可笑しく書いた爆笑エッセイです。ついつい、ぷぷっと笑いながら読んでしまいました。これをきっかけに、色々な本に興味を持ち、今では本を読むのが好きになっています。



これまで読んだ数少ない本の中から3つ紹介したいと思います。1つ目は、有川浩さんの作品です。有川浩さんといえば、様々な作品を出しており何本も映画化されています。その中でも、「図書館戦争」が好きで、特に主演の岡田くんがすごくかっこいいですね～。その関連で、「塩の街」という小説を読んだことがありました。分厚い本で、読むのを迷いましたが、読んでみると面白くて。恋愛ストーリーの中にも人間的ドラマが含まれている小説です。ライドノベルズなので、皆さんにも気軽に読んでもらえるかなと思います。2つ目は、ひすいこたろうさんの「あなたの人生がつまらないと思うんなら、それはあなた自身がつまらなくしているんだぜ。～1秒でこの世界が変わる70の答え～」です。自己啓発本で、モノの見方・考え方が変わる1冊です。社会人になって悩んでいた時期に、この本を手にとりて少し楽になったことを覚えています。最後に、「ウユニ塩湖心を整える100の言葉」を紹介します。ボリビアにあるウユニ塩湖（ぜひ調べてみてください）の絶景写真と名言を合わせた名言集です。好きな時に好きな場所で見て・読んで楽しみながら心を落ち着かせることができる1冊です。

最後に児童・生徒のみなさんへ

本の好みは様々です。小説・文学・詩集・絵本など何でもいいと思います。自分が好きで、いつ読んでも心が温くなる・心が躍る本とぜひ出会ってほしいと思います。出会いのタイミングやきっかけは分かりませんが、ふら～っと図書室や書店に行ってみてください！

